

令和3年度 鶴岡市子ども読書活動推進委員会 会議録（概要）

○日 時 令和3年10月14日(木) 午後15時30分～

○会 場 鶴岡市立図書館 講座室

○次 第 委嘱状交付

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 報告

(1) 令和3年度事業について 資料1
～計画の経過と概要説明～

- ①ブックスタート事業【継続】
- ②乳幼児への推進事業【継続】
- ③子育て支援施設との連携事業【継続】
保育現場での読書活動推進
- ④学校図書館担当者への研修【継続】
- ⑤学校図書館支援事業【継続】
- ⑥啓発パンフレットの活用【新規】
- ⑦読書活動推進事業の実施【新規】
- ⑧読書活動推進事業の実施【継続】

4. 協議

(1) 読書活動推進につながる取組等について
(2) 令和4年度アンケート調査について 資料2

(3) その他

5. その他

6. 閉会

○出席委員

井上裕子委員、本間俊美委員、三浦洋介委員、高取千昭委員、中村ちか子委員、五十嵐良二委員、兼子由香委員、小笠原史子委員、佐藤綾子委員

○欠席委員 なし

○市側出席職員

教育長 布川敦、教育部長 本間明、子育て推進課長 渡会健一、健康福祉部次長(兼)健康課長 伊原千佳子、学校教育課長 成澤和則、図書館長 武田綾子、健康課保健師 松本沙己、子育て推進専門員 浄土創太、かたばみ保育園保育主任 佐藤香、学校教育課専門員 齋藤和宏、図書館主査 船岡里佳、図書専門員 菖蒲みさ
(社会教育課 東北地区社会教育研究大会のため欠席)

○公開・非公開の別 公開

○傍聴者の人数 なし

○会議内容

・委嘱状交付

教育長より追加委員へ委嘱状交付

1 開 会 (部 長)

2 教育長あいさつ

3 報告

(1) 令和3年度事業について

資料1 各担当者より報告

【質疑・意見】

(委 員)

「鶴岡らしい教育」ということで庄内論語があるが、小中学校また、幼稚園、保育園でも活用しているところがあるようだが、(庄内論語)冊子をどのように活用しているか。

(学校教育課)

冊子は新しく入学する小学一年生に配付にしている。そして中学3年生まで持ち上げる。活用については各学校で取り組んでおり、例えば小学校では、毎月1回、「論語の日」を設け、高学年を対象に外部講師により講話をしていただいたり、暗唱に取り組んだりしている。

来年は酒井藩入部400年の年になるため、「庄内論語」の活用について、さらに各学校に働きかけをしていきたい。

(委 員)

「論語の日」を設けている。(小学)2年生から朝の会で暗唱に取り組んでいる。

暗唱を全てクリアしたら、校長室で校長がメダルを贈呈するなど、とても良い活動となっている。ほかにも、校長講話で「庄内論語」について取り上げ、話をしている。

(教育長)

今年度、冊子を増刷している。

(小学校では)各月ごとに論語を黒板に書き出すなどしている。学年ごと、朝の会や集会で暗唱などそれぞれが取り組み、先生方が達成した子どもたちを称賛している。

(委 員)

冊子を作っただけで終わってしまうことのないよう、このように活用している事をもっとアピールしていくといいのでは。

PTA联合会の方からの「親子読書のすすめ」というチラシを拝見した。とてもいい取り組みだと思う。親子で読み合い、おすすめの1冊を応募する、まさに「庄内論語」は、親子で「読みたい1冊」ではないか。(この冊子を)より周知させることは、「鶴岡らしい読書推進」に繋がると思う。

保育園では、三瀬保育園、城南幼稚園が盛んに取り組んでいる。

(委員)

(高校生を見ていると)小中学校時代に行っていることが(論語の取り組み)、心に入っているのだと思う。生徒たちの心の優しさにもつながっていると感じている。

(委員)

「啓発パンフレット」は、良いものが出来たと思う。土田先生の素敵な絵が見ただけでワクワクが伝わる。今後の活用に期待している。

「夜の移動図書館」も、とても良い事業だと思う。夜だからこそ親子で参加できる。ぜひ(ほかの)地域にも広がっていくこと、手の届くところに本があるという事を、さら充実させていただきたい。

保育園での活動として、各家庭から(本の)購入をして頂いていることについて、これもとても良いと思う。図書館で本を借りるのはいいけれども、自分の家に好きな本があること、とても大事な事だと思う。家(うち)の中に本がある環境、とても必要なことだと思う。

小さい頃から本に触れるということ、お金がかかる事ではあるが、たとえばお年玉で本を買うなど、借りるだけではなく家にも本があること、是非これからも多くのところで続けて頂きたい。

(市立図書館の)YAコーナーが素晴らしい。大人も読んでほしい。

また、中高生に何を(棚に)置いたらいいのか、是非聞いていただき、自分たちの選んだ本があること、この世代が読むための環境づくりを進めて頂きたい。

図書司書体験事業もこちらも良かった。色んな体験をした子どもたちが、例えばおすすめの本のコーナーを作るなどしても良いのではないかと。

(委員)

子どもたちが自力で行けるところに本(環境)があれば良いと思う。

アクセスしやすいところに本があると良いのでは。

(委員)

(他の読書活動推進団体で作成した)「まちじゅう図書館マップ」がある。花屋さんやお医者さんなど様々なところに本がある。小さいけれども探してみるのも発見があって楽しいのではないかと。

4. 協議

(1) 読書活動推進につながる取組等について

(会長)

前段で、取組への意見等も提案ありましたので次へ進みます。

(2) 令和4年度アンケート調査について

(事務局) 資料2 説明

第2次計画の数値目標の「子どもの不読率」について、新設項目であるため比較数値がない。コロナ禍のため(2次計画)当初に調査することができないでいた。

第2次策定時にいただいたご意見もあり、学校現場への負担が掛かること、また、来年度調査では次期計画策定調査までの期間がないことが懸念される。(2年連続で調査することとなる。)

調査の必要性、また方法についてもご意見いただきたい。

(委員)

学力調査等の中にも様々な項目がある。有効活用してはいかがなものか。

(会長)

学力調査の(別途)活用について不明な点もある。学校教育課と相談の上、検討してほしい。

(学校教育課)

図書館とも良く相談し検討していきたい。また具体的なことについては、校長会でも説明をしていきたい。

(教育長)

2年連続で調査する事になるがその意図、また同じ子どもを対象として調査するのであれば推移が図れるが、別対象への調査となること等、再度、何を目的としてアンケートを取るのか検討が必要ではないか。もう一度検討していただきたい。

(3) その他

(委員)

数値目標のこの数値(団体貸出)は、学童保育所は対象にならないのか。

(事務局)

学童保育所でも団体貸出による本の活用に力を入れていただいている。

しかし、対象児童が流動的なことから目標数値の対象としては含めていない。

(委員)

現在、読み聞かせボランティアとして、大きいおはなし会が出来ない状況である。

できることから活動している。昨年好評であったラッピングブックとあって、おすすめの本を可愛くプレゼントのようにして貸出するものだが、今年もクリスマスの時期に行う予定である。

5. その他

6. 閉会